

猿人善快エンジン OS-KII

電源は、DC12Vから全て供給されます。受信機へも、このエンジンから出力されるケーブルで供給します。CPUボードに必要な5Vは、一度外に出してから給電しています。この意味ですが、設定などエンジン単体で稼働させる必要があるときに添付のACアダプタでご使用いただくことを想定しています。

イーサーポートは、10BASE-T固定です。PCによっては、イーサーボードドライバで設定の変更が必要になります。(スピードを10Mbpsに変更しないと通信できません))

電源が入ると、動作表示LED 赤と緑の両方が点灯し、約1分後に緑の点灯のみになります。これで正常起動です。

USBメモリを差し込むと、自動識別し(どちらのポートを使用してもOK)、ファームウェアがあれば更新し、その後ロガーに蓄積されたデータをUSBメモリにホルダを作つてダウンロードします。(ファームウェアの更新が無ければ、いきなりデータをダウンロードします。)

動作表示LEDが赤の点灯 あるいはUSBメモリのLEDが点滅中は、USBメモリを引き抜いてはいけません、この点はご注意下さい。

USBメモリの使い方は、本体説明書ファームアップの項目で、詳しくご説明しています。

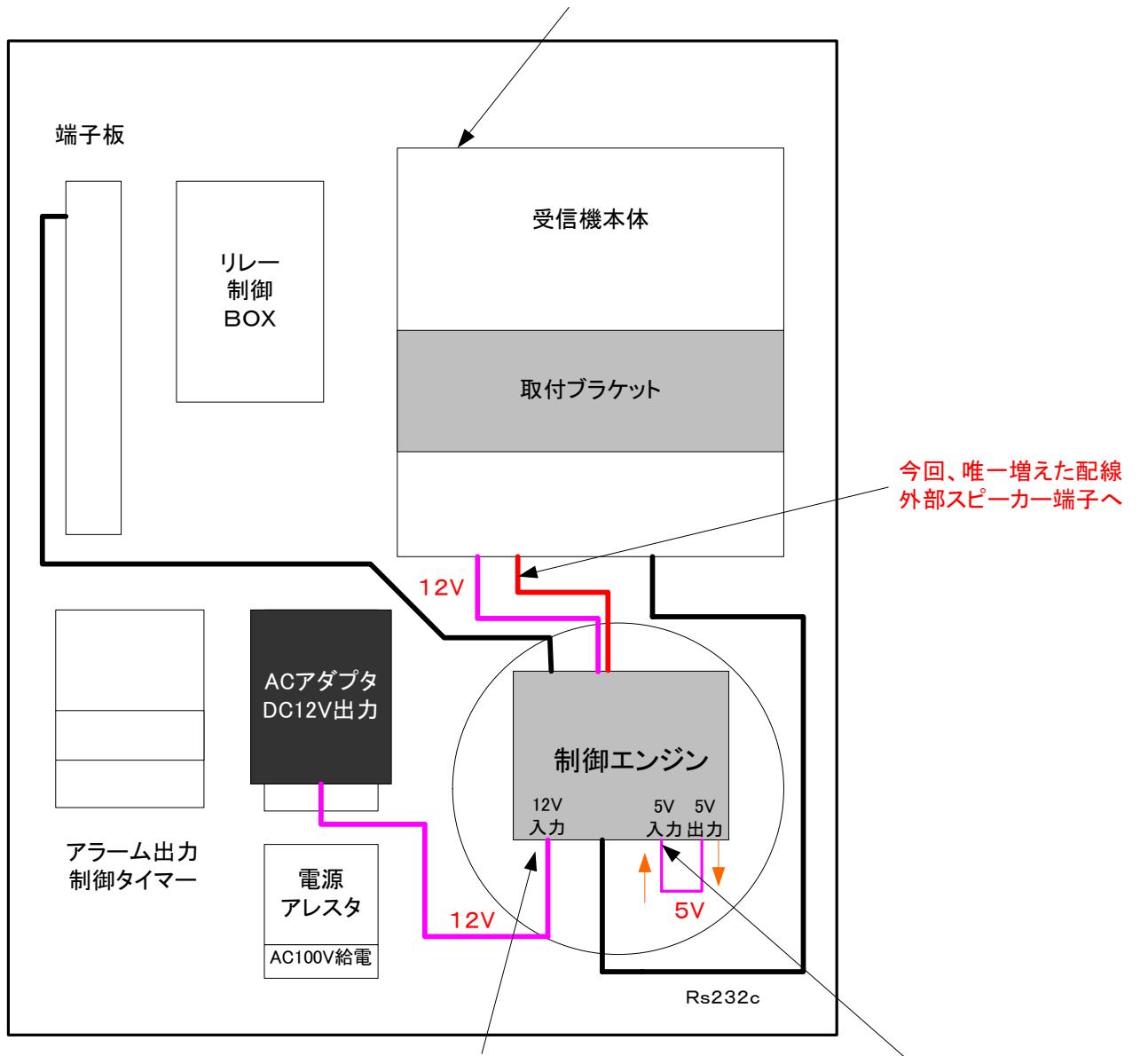
なお、カレンダーのバックアップは内蔵していますが、10日以上電源が入っていないければ狂っていますので、その場合はインターネット環境に接続して起動することでNTPサーバーにより自動取得されるか、PCを接続して、手動で合わせてください。

*本エンジン部単独の再起動が必要な時は、5V電源プラグの抜き差しで行って下さい。

アナログ・デジタル両用エンジン 接続 & ツマミ設定

※赤字のコメントについては、別紙
写真でも具体的にご紹介しております

PWR/Volツマミ 11:30～12:00の位置(真上気持ち左くらい)
SQLツマミ 反時計方向(左方向)に回しきった位置



エンジン部の交換(入替)について

必要な設定が済ませてあるなら、入替だけで何もほかに作業は必要ありません。

配線の順番は特にありませんが、12V電源接続は、最後に行って下さい。

この電源を接続しようとするときに

1. 受信機の電源が入っていない(PWR/VolツマミでOFFになっている、電源配線が行われていない)
2. Rs232cの接続が出来ていない

と言う状況がありますと、受信機にエンジンからのコマンドが届きません。

もし上記タイミングにより再起動が必要な場合は、エンジン5Vのプラグを一度抜いてから差し込んで下さい。

コマンドが届いた確認ですが、受信機液晶パネル真ん中少し上右部に、目玉のような二重丸表示があればOKです。

1. 配線が1本増えています。

受信機電源供給コネクタの右にある外部スピーカー端子への接続線が増えています。

2. 受信機のボリューム設定

PWR/Volツマミ 11:30～12:00の位置に(真上かやや左より)

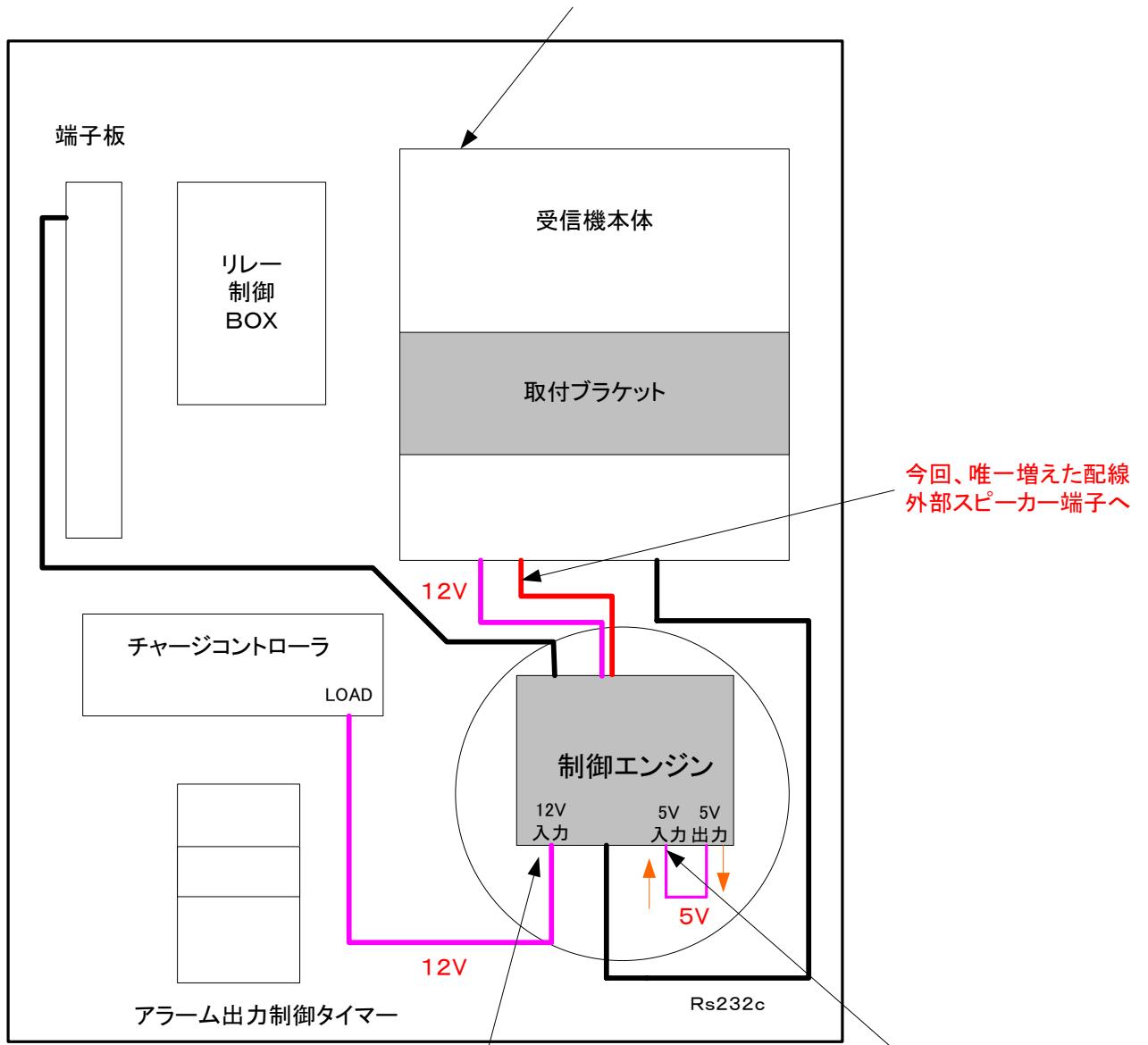
SQLツマミ 反時計方向(左側)一杯の位置に

3. PCを、クロス・イーサー・ケーブルで直接接続する場合のインターフェイスは、10BASE-T(固定)です
PCによっては、コントロールパネル/システム/ハードウェア/デバイスマネージャー/ネットワークアダプタ/
プロパティ/詳細設定で、スピードを10Mbpsに設定しないと通信できないモノがあります

アナログ・デジタル両用エンジン 接続 & ツマミ設定

※赤字のコメントについては、別紙
写真でも具体的にご紹介しております

PWR/Volツマミ 11:30～12:00の位置(真上気持ち左くらい)
SQLツマミ 反時計方向(左方向)に回しきった位置



エンジン部の交換(入替)について

必要な設定が済ませてあるなら、入替だけで何もほかに作業は必要ありません。

配線の順番は特にありませんが、12V電源接続は、最後に行って下さい。

この電源を接続しようとするときに

1. 受信機の電源が入っていない(PWR/VolツマミでOFFになっている、電源配線が行われていない)
2. RS232cの接続が出来ていない

と言う状況がありますと、受信機にエンジンからのコマンドが届きません。

もし上記タイミングにより再起動が必要な場合は、エンジン5Vのプラグを一度抜いてから差し込んで下さい。

コマンドが届いた確認ですが、受信機液晶パネル真ん中少し上右部に、目玉のような二重丸表示があればOKです。

1. 配線が1本増えています。

受信機電源供給コネクタの右にある外部スピーカー端子への接続線が増えています。

2. 受信機のボリューム設定

PWR/Volツマミ 11:30～12:00の位置に(真上かやや左より)

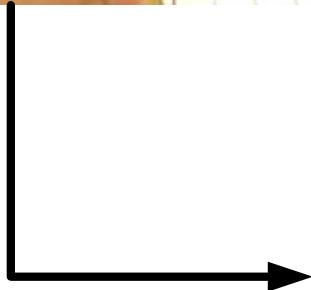
SQLツマミ 反時計方向(左側)一杯の位置に

3. PCを、クロス・イーサー・ケーブルで直接接続する場合のインターフェイスは、10BASE-T(固定)です
PCによっては、コントロールパネル/システム/ハードウェア/デバイスマネージャー/ネットワークアダプタ/
プロパティ/詳細設定で、スピードを10Mbpsに設定しないと通信できないモノがあります

エンジン取付の注意(補足) その他の配線は、従来と同じです



エンジンからのコネクタ2本は
このように受信機に接続します



音量調整つまみは
11時半から12時の位置
(ほぼ真上に)

この二重丸が
外部制御中のマーク

必ず反時計方向一杯
(左方向一杯)

